

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第2類医薬品

◆ウチダの漢方製剤◆

ウチダの 柴苓湯

サイレイトウ

ウチダの柴苓湯は漢方処方にしたがって、生薬を配合した煎じ薬で、特異な芳香があります。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと
生後3カ月未満の乳児。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - 高齢者。
 - 今までに薬等により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
むくみ
 - 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
その他	頻尿、排尿痛、血尿、残尿感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等が見られ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位(急性胃腸炎に服用する場合には5~6回、水瀉性下痢、暑気あたりに服用する場合には5~6日間)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

用法・用量

年齢	1日量
大人(15歳以上)	1袋(1日分)につき水約600mLを加え、あまり強くない火にかけ、約300mLに煎じつめ、袋を取り出し、3回にわけて食前1時間又は食間空腹時に温服する。
15歳未満7歳以上	大人の煎液の2/3量を3回にわけて食前1時間又は食間空腹時に温服する。
7歳未満4歳以上	大人の煎液の1/2量を3回にわけて食前1時間又は食間空腹時に温服する。
4歳未満2歳以上	大人の煎液の1/3量を3回にわけて食前1時間又は食間空腹時に温服する。
2歳未満	大人の煎液の1/4量以下を3回にわけて食前1時間又は食間空腹時に温服する。

〈用法・用量に関連する注意〉

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。

成分・分量

本品1袋(1日分)中			
サイコ	7.0g	カンゾウ	2.0g
ハンゲ	5.0g	タクシャ	5.0g
ショウキョウ	1.0g	チヨレイ	3.0g
オウゴン	3.0g	ブクリョウ	3.0g
タイソウ	3.0g	ソウジュツ	3.0g
ニンジン	3.0g	ケイヒ	2.0g
全量			40.0g

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

●お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社ウチダ和漢薬 お客様相談センター

TEL 03-3806-4141

受付時間 9:00~17:30(土、日、祝日を除く)

- ◆本剤中にはソウジュツが配合されているため袋内に白色の結晶が析出することがありますが、品質上は問題ありません。
- ◆本剤は生薬を原料としていますので製品により多少色が異なることがありますが、効能・効果にかわりはありません。

効能・効果

吐き気、食欲不振、のどのかわき、排尿が少ないなどの次の諸症：水瀉性下痢^注、急性胃腸炎、暑気あたり、むくみ

^注「水瀉性下痢」とは水様性の下痢を指します。



株式会社 ウチダ和漢薬

* 東京都荒川区東日暮里 4-3-3